

第7回アドバイザー・ボード会合の概要

「アドバイザー・ボード」の第7回会合の日時・出席者等については、以下に示すとおりである。

日 時：2008（平成20）年2月19日（火） 15時00分～17時15分

場 所：神戸大学六甲台本館3階大会議室

出席者：

アドバイザー・ボード委員（五十音順，敬称略）

家次恒，江崎勝久，小椋昭夫，金尾茂樹，高崎正弘，畠田圭兒，矢崎和彦
経営学研究科教員

正司健一，加護野忠男，加登豊，國部克彦，松尾博文，平野光俊
（今津清）

「アドバイザー・ボード」の第7回会合では、研究科長の正司の司会により、以下の報告と議論が行われた。まず、会議に先立って新たにアドバイザー・ボードのメンバーに加わった2人の委員が紹介された。そして、経営学研究科がとりまとめた自己評価・外部評価報告書草稿を踏まえて、正司から経営学研究科の現況について、大学および経営学研究科を取り巻く制度環境，特に学部・大学院（PhDプログラム）の現状と課題について報告が行われた。次に、松尾と國部から社会人MBAプログラムの現状と課題を中心に説明が行われた。まず松尾が、前回会議でその創設を報告していた「MBAフェロー」を中心に、専門職大学院教育推進プログラムにおける活動報告が行われた。引き続き國部から、今年度のMBAの募集状況を紹介した後、2008（平成20）年度から導入する社会人MBAプログラム改革の概要についての説明が行われた。休憩後、当日出席の各委員から経営学研究科の教育研究活動の全般についてさまざまな問題提起や意見交換が行われた。主な論点は、たとえば、M&A等実践的な内容をともなうテーマへの対応，社会人PhDの状況，卒業生ネットワークの構築，経営学研究科の長期的戦略構築のあり方，ノン・ディグリータイプの教育について，等であった。